

元残留日本兵御家族交流会 挨拶（2018年3月28日、公邸）

みなさん、こんにちは。

久しぶりに、皆様とお話しできる場をもてることを非常に嬉しく思います。本日の交流会には、約20家族の方々に参加いただいておりますが、昨年10月以降、新たに「元残留日本兵の子供」であると判明した3家族の方々が、ハノイ・タイグエン・バクザンからおいでいただいております。皆様の公邸への御来訪を心より歓迎いたします。

今年2018年は、日越外交関係樹立45周年を迎えており、様々な行事が開催されています。本日の交流会も45周年事業の一環として開催させていただきます。皆様にはリラックスして、交流会のひと時をお楽しみいただきたいと思います。

本日の交流会開催目的は3つあります。

●第一の目的は、昨年10月、14名の方が訪日されましたが、その報告書がようやく完成しましたので、皆さんにお渡しすることです。訪日記録として、同時に皆さんの思い出となる報告書にすべく、ズンさん撮影の写真を多く使用しました。

また、NHKが訪日を含んだ「特別番組」を作成し、先日、放映されました。後ほど、前のスクリーンで上映いたします。訪日の報告書及び（NHKのドキュメンタリーDVD）勝さんから提供いただいた日本の絵本は皆様にお渡しいたします。）

昨年10月の訪日は、短い期間の訪日でしたが、新たな沢山のドラマを生みました。例えば、皆様の東京到着後、天皇皇后両陛下から皆様にメッセージが届けられました。また、メディアの方々のご協力のおかげで、新たにカインさんとトゥアンさんのお父様のお墓が見つかり、お二人がお墓参りをできました。チャン・ダーさんも、お父さんのお墓の情報を初めて入手されました。皆さんの訪日に関する新聞記事やテレビ報道は、有益な情報提供をもたらしました。

また、チャウさんは、坪井先生のご尽力でお墓参りの夢がかないました。ズンさんも、息子のハイさんと共にお墓まいりをできました。元残留日本兵の杉原さんとクアンさん夫妻の再会も重要な機会となりました。

更に、昨年、皇后陛下に抱きしめられたスアンさんは、今年1月、ハノイ郊外の自宅において94歳で静かに逝去されました。子供さんたちは、日本の妹から手渡されたご主人の遺骨を日本から持ち帰られましたが、スアンさんと

ご主人の遺骨は二つ並べたお墓に埋葬されました。波乱に満ちた人生でした。心からご冥福をお祈りいたします。

今年1月、天皇皇后両陛下は、年初の和歌でベトナムと皆様への思いをうたわれました。ここで、皇后陛下の御歌を御紹介いたします。

「旅」

「父の国」と 日本を語る 人ら住む
遠きベトナムを 訪ひきたり

報告書にベトナム語訳とともに掲載していますので、のちほどどうぞゆっくりご覧ください。

●二つ目の目的は、「御家族」の交流を続け、さらに広げていただきたいということです。

今回新たに3家族に参加いただいています。第一世代（元残留日本兵の子）だけではなく、次の世代の方にも、ベトナムと日本の架け橋であるとの誇りを持ち、交流を深めていただきたいと思います。皆様には、今回の交流会を御家族間の交流を深める場として活用いただければ幸いです。

●3つ目の目的は、感謝の気持ちをお伝えすることです。2年前の年末、この大使公邸で初めての交流の場をもった後、昨年3月の両陛下との懇談、10月の訪日、1月のスアンさんのお葬式等様々なことがありました。すべての行事は、小松みゆきさんに強く支えて頂きました。また、皆さんの訪日実現に当たっては、「日本財団」とともに「支援する会メンバー」からの物心両面の温かいサポートがありました。支援いただいた全ての方に、この場を借りて改めて心より感謝を申し上げます。

●最後に、皆様の御健勝と日越関係の一層の発展を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。（了）